		専門学校	開講年度平	成29年度 (2017年度)	授	受業科目_	日本簿	莫字能力検定			
科目基礎	情報					_					
科目番号		0067		科目区分	科目区分		一般 / 選択				
授業形態		講義		単位の種別	単位の種別と単位数		履修単位: 1				
開設学科		電気電子	工学科	対象学年	1		5				
開設期		通年		週時間数							
教科書/教	材	本漢字能	ジカ検定協会)公式ホーム	日本漢字能力検定2級以上に ムページ http://www.kan	対応した問 ken.or.jp/	題集(どの)出版社σ. 	Dものでもよい),漢検(E 			
担当教員		江原 由	美子								
到達目標											
到達目標			日本語知識について理解を Pし, それらを適切に用いて, コミュニケーション	を深め,それらを適切に活用し いて表現できる。)て表現する	る力を高める	3.				
		12-tx.cmv	1C, 1C1_7_7_	ンで図ることができる。							
ルーブリ	リツク	唐		T ₂	1						
		優		良	可	54K +A	2 67 12 1	不可			
評価項目1			ト漢字能力検定2級以上 憂秀な成績で合格する。	日本漢字能力検定2級以上 に良好な成績で合格する。	1 日本渓子	ア能力検定? サる。	2級以上	日本漢字能力検定2級以 ₋ に合格できない。			
学科の到	 達日煙T	頁目との関		(EDCA) CAMACA CENTED OF	ПОДП			TOTAL CC SOLV			
		スロしいは	1 M/								
教育方法	∡र्च	_ 6л. =		\mz . □=5							
		一般・専門の別:一般 学習の分野:国語									
		必修・履	髲修・履修選択・選択の 別	削:選択							
		基礎とな	 基礎となる学問分野:人文学/言語学								
概要		学科学習	学科学習目標との関連:本科目は一般科目学習目標「(3)生きるための活力と,その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。								

		れた制約	れた制約の下で,自主的・計画的・継続的に自己学習できること」である。 								
				りに行い,日本漢字能力検定							
		授業の方	授業の方法:担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。								
授業の進め	方・方法	成績評価 教務係^	成績評価方法:日本漢字能力検定2級以上に合格した者は,担当教員に申し出るとともに,学年末試験の最終日までに教務係へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で単位認定を審議し,合・否で評価する。								
		履修上の の取得に される単	履修上の注意:所定の期日までに,選択科目履修願を提出すること。また,本科目は資格取得による科目であり,単位の取得には単位取得申請手続きを行うことが必要である。選択科目(自発的学習科目を除く)の内,教務委員会で認定される単位数は,一般科目については4単位以内である。								
注意点		2級ま	履修のアドバイス: ・ 2 終までのそれは、受検希望者が10名以上出た場合、津山高専で受検可能(10名未満の場合は、公開会場での個人受験を表する。								
		・1級と	検となる)。検定実施の詳細は、掲示板で連絡する。 ・1級と準1級は、公開会場(岡山県内では例年、岡山市と倉敷市に設置)でのみ受検可能。平成29年度の公開会場の 検定日は、第1回が6月18日(日)、第2回が10月15日(日)、第3回が平成30年2月4日(日)。								
.,		基礎科目	基礎科目:国語I(1年),国語II(2),国語II(3),国語IV(4) 関連科目:漢字が関わる全科目								
		受講上の)アドバイス : * 草校卒業・大学・一郎	心程度のレベリ (オベナの労	田逆字につ	ハフ きュ	車キや	女音由での海細も焼田もで			
		きるレヘ	・2級は、高校卒業・大学・一般程度のレベル(すべての常用漢字について、読み書きや、文章中での適切な使用ができるレベル)であるが、実力で合格することは難しく、受検対策の勉強が必要である。 ・1級は常用漢字(2136字)を含む約6000字、準1級は常用漢字を中心とした約3000字が対象漢字となる。どちらの								
		・1級に 級夫大学	・1級は常用漢字(2136字)を含む約6000字,準1級は常用漢字を中心とした約3000字が対象漢字となる。どちらの 級も大学・一般程度のレベルとされているが,合格するにはかなりの努力が必要である。 ・以上をふまえ,自身の漢字能力と受検日に合わせて,学習を進めること。								
		・以上を	ふまえ、自身の漢字能力	りと受検日に合わせて,学習	を進めるこ	こと。	.60 00				
授業計画	 I										
, <u>-</u>		週	授業内容		週ごと	この到達目標	票				
	1stQ	1週	日本漢字能力検定につい	 ハてのガイダンス。	1						
		2週	担当教員の指導のもと	こ,日本漢字能力検定2級以 寅習を,各自が自主的に行う	上						
前期		3週	同	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
		4週	同								
		5週	同								
		6週	同								
		7週	同								
		8週	(前期中間試験)								
	2ndQ	9週		こ,日本漢字能力検定2級以 寅習を,各自が自主的に行う	上						
		10週	同	,							
		11週	同								
		12週	同								
		12)⊞									

13週

14週

15週

同

同

(前期末試験)

			1						
		16週	担当教員の指導のの受検に対応した	Dもとに,日本漢字 5問題演習を,各自	学能力検定 2 級以上 自が自主的に行う。	-			
後期	3rdQ	1週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。						
		2週	同						
		3週	同						
		4週	同						
		5週	同						
		6週	同						
		7週	同						
		8週	(後期中間試験)						
		9週	担当教員の指導のの受検に対応した	Dもとに,日本漢字 5問題演習を,各自	字能力検定 2 級以上 自が自主的に行う。	-			
		10週	同						
		11週	同						
	4thQ	12週	同						
		13週	同						
		14週	同						
		15週	(学年末試験)						
		16週	合格者に対する,	単位取得申請手約	売きの説明。				
モデルニ	コアカリ	キュラムの	D学習内容と到	達目標					
分類		分野	学習内容	学習内容の到達	 :目標		到边	達レベル 授業週	
評価割合	 }	'	<u>'</u>	•			•	<u>'</u>	
P1 1m 11 7 1		 式験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計	
総合評価割合		.00	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力		.00	0	0	0	0	0	100	
専門的能力)	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力)	0	0	0	0	0	0	